

### 第33回甲賀市水道事業審議会 概要報告

1. 開催日時 平成29年7月21日(金) 午後2時00分から午後4時20分まで
2. 開催場所 甲賀市役所甲南庁舎 1階 第1会議室
3. 議 題
  - ・ 審議  
平成28年度甲賀市水道事業会計決算について
  - ・ 報告  
水道事業報告について  
平成29年度 工事契約状況  
アセットマネジメントについて
  - ・ 会議内容の公開、非公開について
4. 公開又は非公開の別 公開
5. 出席者
  - 委員 村山委員、大治委員、永野委員、松井委員、風岡委員、  
高橋委員、植西委員、奥出委員、高山委員 以上9名
  - 事務局 上下水道部 森本部長、小嶋次長  
上水道課 藤田課長、平子係長  
上下水道総務課 大谷課長、福田課長補佐、井上係長 岡崎係長
6. 傍聴者数 0人
7. 会議資料 平成28年度 甲賀市水道事業会計決算概要について
8. 議事の概要

#### ○出席委員数の報告

出席委員は10名中9名で、委員の3分の2以上の出席であることから、甲賀市水道事業審議会条例第5条第2項の規定により、会議が成立していることを事務局から報告。

## ○審議

- 事務局 平成28年度甲賀市水道事業会計決算見込について資料に基づき説明  
(質疑)  
委員 14・15ページで説明いただいた4件の老朽管工事の管の経過年数はどのくらいか。
- 事務局 鳥居野地区と希望ヶ丘地区は不明となっています。それだけ古い管であるということです。水口地区は昭和40年と54年、今郷地区は昭和62年です。基本的に年数が古いものから順次更新していますが、水圧の関係等により新しい年代であっても破裂を頻繁に起こすような状況もあるので、日頃の運用、施設・管路の維持管理をしている中で、傷んだり、ご迷惑をお掛けするような状況になったりしたものを優先しています。
- 委員 12ページの流動資産の未収金と6ページの現年・過年の未収金合計との差異は何か。
- 事務局 12ページの流動資産の未収金には未収給水収益やその他営業収益未収金、その他営業外収益未収金、その他未収金があります。6ページの未収金については、未収給水収益のみです。その他営業収益未収金には給水装置の審査・検査手数料等、その他営業外収益未収金には、駐車場料金等、その他未収金には給水装置の新規加入金や工事分担金等が計上されています。
- 委員 それに伴う貸倒引当金は水道料金だけでなく、工事分担金や加入金を含めて何%設定か。
- 事務局 貸倒引当金は水道料金に対してのみです。
- 委員 水道料金に対して何%か。
- 事務局 過去5年間の不納欠損額を平均した金額で設定しています。
- 委員 給水施設や給水管等は毎年どんどん替えていかないといけないということですね。
- 事務局 後ほどアセットマネジメントの説明もさせていただきますが、今一番経営を圧迫しているのは老朽施設や老朽管の更新です。同じ時期に配管をしてきたので同じくらいの年数で老朽化してきています。配管が割れたときに対応はしますが、計画的な更新ができていなかったことの弊害が今出てきています。アセットマネジメント

で布設年度や破損の頻度の調査をしまして、今後は計画的に更新をしていく方向です。一概に布設年度が古いから替えていくという訳にはいかず、地形や地質、破損頻度を調査したうえで、アセットマネジメントで計画的な更新をしていく取り組みを進めていくところです。

委員 5ページの職員給与費が146,085千円となっているが何名分か

事務局 19名です。

委員 27年度が159,099千円、28年度は146,085千円で13,000千円程減となっているが、人数が減ったのか。

事務局 若干人事異動で減った分もありますし、嘱託、臨時で雇ったりするときもありますが、若手の職員が多いと単価が低いですので総額が低くなります。

委員 委託料が増えている。外部委託のウエイトが増えてきたということか。

事務局 水道は専門技術が必要な部分がありますが職員は人事異動がありますので、継続的にメンテナンスをするには専門的な事業者に委託する必要があります。現在、施設の日常管理や年間500件くらいある破損事故は、専門業者や指定工事組合に委託しており、委託料が増えています。

事務局 補足ですが、委託料が27年度より20,000千円増えているのは、28年度にアセットマネジメントや施設の簡易耐震診断業務委託を行ったためです。人件費では、27年度は20名、28年度は19名という状況です。

委員 企業債の平均レートはいくらか。

また、4ページの28年度決算状況は消費税抜きで書いてあるが、補足資料の予算と決算の対比されているものは消費税込みで書いてある。統一していただきたい。

事務局 企業債の利率は、28年度が0.60%、27年度が0.50%です。

事務局 参考資料について次回から統一できるよう検討します。

委員 資料1の1枚目の有収率自体が下がったのは老朽管の破損によるということだが、全国類似団体との比較においても下回っており、地域的な広さ等はあるが、そういう状況が今後も続くようであれば問題であるので、積極的に老朽管の保守はやっていただきたい。

それから未収給水収益は年々額が下がってきてはいるが、少しでも減らしていく努力は積極的にやっていただきたい。

事務局 未収給水収益につきましては、増やさないよう取り組んで行きたいと思います。

事務局 有収率が下がっている主な原因ですが、前年度の状況を見ますと、漏水量が多量となる事例が増えています。修繕が終わってから濁った水が出ますので管に残った水を全部出しきれいにしてから供給しますが、末端で漏れた場合より根元で漏れた場合の方が大量に捨てる水が出てしまいます。どちらかというと比較的幹線のなかで影響の大きいところの漏水が年々増えていることから有収率に反映されていると思われる。

委員 特に幹線の管路破損ということでしたら、なおさら影響も大きいところなのでそういうところを重点的にやっていただくことも考えていただきたい。

事務局 わかりました

## ○報告

事務局 水道事業報告について資料に基づき説明  
(質疑)

委員 相模地区の老朽管は塩化ビニール管でPV管が入っているということだが、その他の地区は何の管が入っているのか

事務局 一部石綿管が残っているところもありますが、塩化ビニール管が多いです。

事務局 アセットマネジメントについて資料に基づき説明  
(質疑)

委員 コンサルタント業者に委託されたのはなぜか。

事務局 アセットマネジメント作成において、現状把握のためのデータ分析や、各地域の地理的、気候的条件等によってどのような対策を行っていくかの方向性を決定していくなかでコンサルタント業者は一定のノウハウを持っておられます。また、今事業の委託先業者は、旧町から甲賀郡内の設計業務に携わっていただいたこともあり地理的にも非常に明るいです。

委員 将来人口について、人口問題研究所の推計と市の総合計画との数字にはかなり大

きな開きがあるが、本当にこの計画の数字で維持できるのか。

事務局 市の将来的な構想は総合計画が大元にあり、その配下にそれぞれの計画がありますのでそれに従った計画を作成することになります。しかし、それぞれの専門的な計画の中でいろいろな要因が出てきますので、時代背景、社会情勢等を踏まえて計画の見直しを行い、ロスのない実行性のある計画にしていくよう進めていきます。

委員 耐震化についてですが、予測されている大規模地震に備え、人口集中地区の施設等で老朽化している箇所は優先的に工事を行ってほしい。

委員 アセットマネジメントが作成されると、今までと大幅に変更されることがあるのか。

事務局 具体的にどのような工事を集中的に優先的に進めるのかということが明確でないところがありましたので、現状把握と分析を行いそれらを明確にした上で、財政との兼ね合いを考慮しながら進めていくこととなります。

委員 有形固定資産の償却率が、平成25年と平成26年でかなりの差があるがなぜか。

事務局 平成26年に公営企業会計の基準が改定されたことによる影響です。

委員 人口が大幅に減少した場合、財源確保が難しくなり整備等がされずに切り捨てられるのではないか。

事務局 他の自治体との差別化を図り、人口減少をいかに食い止めるかということが重要です。

委員 アセットマネジメントが公に出るのはいつか。

事務局 2月に開催予定の審議会で皆さまに案をお示しし、3月議会の全員協議会で提示させていただく予定です。

## ○会議内容の公開又は非公開について

事務局 本日の会議内容の公開・非公開は、本日配布した資料等にも個人情報等の非公開にしなければならない案件は含まれていませんので、すべて公開としたいと思っております。なお、前回同様、議事録の発言につきましては、個人名ではなく、委員と記載して公開させていただきます。